



おぐに議会だより

第7号 平成24年2月10日
12月定例会報告

空焦がす炎の祭典 杖立温泉

- 3694 万円追加補正
- 町問答（一般質問）
- はばたけ新成人
- 研修・編集後記 他

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原1567の1 TEL.0967-46-2119

平成23年第4回定例議会

会 期
自：平成23年12月19日
至：平成23年12月21日

土田滝公園整備計画委託費など補正予算全員可決

平成23年度 一般会計補正予算 主な補正額内訳

補正額3,694万円追加 総額51億8,892万円

歳入の補正額

1. 交付金等	1,874.3 万円
2. 財産・寄付収入	175.3 万円
3. 繰入金	△2,600.0 万円
4. 諸収入	5,884.4 万円
5. 町債	△1,640.0 万円



歳出の補正額

システム改修委託費	265.0 万円
地方バス運行補助金	136.3 万円
県知事選挙費	649.0 万円
障害者福祉費	500.0 万円
老人ホームボイラー工事費	350.0 万円
子ども手当ソフト改修費	182.6 万円
単県治山工事費	170.0 万円
土田滝公園整備計画委託費	800.0 万円
道路改修工事費	170.0 万円
災害用備品費	420.0 万円
その他	51.1 万円

平成23年度 国民健康保険特別会計 補正予算

補正額4.7万円追加(繰越金 4.7万円・諸支出金へ) 総額12億6,986.9万円

条例改正 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院の勧告を受け、現行100分の99.64を100分の99.21に改正するもので、対象職員は40歳から50歳代で月額約1,000円ほどの減額。

固定資産評価審査委員及び人権擁護委員を全員一致で選任

小国町固定資産評価審査委員会委員 杉 平 俊 弥 様 4期目
人 権 擁 護 委 員 穴 井 政 之 様 1期目

請願・発議

請願第3号 郵政民営化法の見直し、に関する意見書提出を求める請願書

請願者 杖立郵便局長 穴井 裕司

紹介議員 松崎 俊一

(総務文教福祉常任委員会にて審議し、委員長報告で委員は賛成)

発議第6号 郵政民営化法の見直しに関する意見書(案)提出(原案可決)

請願第4号 原子力発電から撤退し、自然エネルギーの開発と普及を求める意見書に

関する請願書(総務文教福祉常任委員会にて審議し、委員長報告で継続審議)

請願者 あそ九条の会 禿 浩道

紹介議員 児玉 智博・梅木 隆志・穴井 帝史

請願第5号 国民健康保険医療費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める請願書(不採択)

請願者 新日本婦人の会熊本県本部 畠田 ミツ子

紹介議員 児玉 智博

平成23年第6回臨時議会

会 期
平成23年11月25日

専決処分事項 3件を承認
補正予算2件 一般会計11.9万円と125.0万円
中学校の部活動遠征補助と学校給食センター食器乾燥機の買い替え
条例改正1件
熊本県市町村総合事務組合規約の1部改正
補正予算(一般会計1,139.4万円)を可決
補正予算の主な内容
住民相談室の設置
10月の移動に伴う各種手当の変更その他

賛否の公表															
	議案番号	事件名	採決 結果	原 山 光 成	梅 木 隆 志	奴 留 湯 哲 宣	児 玉 智 博	北 里 勝 義	松 崎 俊 一	松 本 明 雄	穴 井 帝 史	時 松 唯 一	渡 邊 誠 次	北 里 邦 治	高 村 祝 次
補正予算・条例等	承認第5号	専決処分の承認について「一般会計補正予算(第5号)」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	承認第6号	専決処分の承認について(熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	承認第7号	専決処分の承認について「一般会計補正予算(第6号)」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第64号	平成23年度小国町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第65号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第66号	平成23年度小国町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第67号	平成23年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	請願第3号	郵政民営化の見直しに関する意見書提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
	請願第5号	国民健康保険医療費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める請願書	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	欠	—
	発議第6号	郵政民営化の見直しに関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—

○…賛成
×…反対
欠…欠席
※議長は採決には加わりません。

TPP交渉参加反対の意見書を全会一致で可決

世界的な食糧危機、未曾有の大震災・原発事故のもとで、食料自給率40%のわが国は可能な限り国内生産を目指すべきであり、例外なき関税撤廃を原則とするTPPへの参加は国内農業の振興と到底両立できない。

TPPへの参加は単に農産物等の関税撤廃にとどまらず、金融、保険、医療、労働など、あらゆる分野に関する仕組みの変更につながるものであり、国民生活にかかわる大きな問題を含んでおり、「国のかたち」が一変してしまう可能性もある。

こうした国家存立にかかわる重要な問題を内包しているにもかかわらず、国民に十分な情報開示もしないで交渉参加を前提とした姿勢を政府がとり続けていることは極めて遺憾である。

(TPP交渉参加反対の意見書の一部抜粋)

われわれの社会・生活が一変

食の安全・安心の仕組みが崩壊

米国産牛肉の輸入制限の緩和
農薬、食品添加物等の基準緩和

労働環境が激変

外国人労働力により日本人の雇用が喪失

地域医療が崩壊

自由診療の導入や株式会社の病院経営
参入により地域医療が崩壊

地域経済へ大打撃

公共事業の入札が海外企業にも開放され、
地元企業は低価格競争を強いられます。



TPPの学習会を実施
11月18日熊本県農協中央会の中村部長を招いて、議員全員で、TPPについての問題点や農業に与える影響について学習しました。

町民にやさしい 介護保険を

児玉 智博



護から排除され、厳しい生活に陥っている。サービスの減免制度を設ける考えはないか。

【町長】低所得者への負担減免やボランティアのあり方等を検討中。

問 介護が必要になっても、その度合いに応じて必要な介護を受けられる事は大変重要であるが、町長のこの問題についての基本認識を伺う。

【町長】社会全体で支え合うという認識は変わらない。

問 介護が必要でも1割の負担が重く、利用を控えねばならないという状況はないか。

【福祉課長】そういうケースもゼロではないが、満額使う必要はほとんどの場合はない。

問 低所得者が公的介

被保険者の8割は介護認定すら受けていない。また、1割負担が出来なければ利用出来ない。全ての認定者が利用を保障されていない段階でこれ以上の負担増はすべきでない。

(単位:円)

年度	基礎年金額 (満額)	介護保険料 (全国平均)
2000	67,016	2,911
2003	66,416	3,293
2006	66,008	4,160
2012 (予想)	65,741	5,000 ~

問 小国町の医療についての基本的な考えは。

【町長】自治体病院であるので営利追求重視の組織ではなく、小国郷の医療、福祉を支える組織



町の医療体制を問う

渡邊 誠次

として認識する。非常に大事であることを重ね、議論を深めていく。

問 地域医療づくりを進める上で、住民ができることは医療のサポートボランティアの設立推進ではないか。

【町長】運営委員会、病院議会とともに話をしていく。発展的に繋げ、南小国町の担当者との協議、前向きに検討する。

問 医師の育成のための特別な奨学金等の必要性は。

【町長】他の自治体ではあるように聞いているが、問題、課題点も多いように思う。病院運営委員会に諮りたい。

問 平成23年度は大きな災害が多く、国民の心に深く傷を残した。その代償に防災についての議論、意識の向上

が深く、また全体で考えられるようになった。小国町でも防災の関連質疑も多く、対策費も数年に亘り計上されているが、杖立地区の災害時の非難経路(林道赤鹿線)はどう考えているか。

【町長】災害が多い町であることは認識している。避難経路を含めたハザードマップを作成している。杖立地区は形状的、技術的に難しいが、林道の活用は考えていなかった。いい意見があるので担当課と十分協議する。



機構改革その後、こども議会 婚活イベントの支援

穴井 帝史



町民が役場に来やすい『役場づくり』の体制、及び業務の明確化を目指している。感触からいうと百点満点ではないが、スムーズにいつているのではないかと思う。

【町長】行政の参考にもなった他県での例もあることから、小中学生へのアンケート調査等行ったらどうか。

【町長】10月より施行された機構改革について、行政サービス運営上、円滑かつスムーズに機能できるとの踏まえから行われたものと思うが、一ヶ月半が過ぎ、機能が十分活かされているか。

【町長】産業の活性化や町民の所得向上等、町を元気づける課を構成し、行政職員が機動力を最大限発揮できることと、

婚活イベントの成果と次年度の予定は。

【住民課長】NPO法人とタイアップ企画にて44名の交流会を行った。マッチングとしては6組。結婚まで至ったカップルは、結果としてゼロであった。

【町長】行政としても研究を重ね、支援していきたい。

【教育長】統合の際、教育課程特例校の指定により「小国学」を設け、自然・産業・偉人等学習している。愛着をもつて小国町を何とかしていきたいという心構えをつくっていきたい。一つの試みとして、中学校では子ども議会等も検討している。

【町長】山間部の少子高齢化は町の重要課題である。今年度行われた婚

【町長】町道東側を走っているファームロードが開通以来13年経過し、県外車両の増加等、経年劣化に伴い今後維持管理に相当額の負担が強いられることは明らかであり、町道から県道への格上げを関係機関と協議していただきたい。関連して①弓田、②二股線の局所改良計画について②原、寺尾野線の工期計画を併せて伺う。

【建設課長】①熊本県からの指導を仰ぎ、関係市町村と連携し、情報

町道から県道への格上げ

時松 唯一



【町長】当面は町が支援（館の継続）する。町民ギャラリーを設置し、住民への周知、事務の効率化を図る。

【町長】城村最終処分場閉鎖の進捗状況は。

【住民課長】設計工法等の協議を事業主体（阿蘇広域行政事務組合・関係町村）及び地域住民と意見交換を踏まえ、最終的な適正閉鎖を実施する。

収集等に努める。②平成21年～25年度の五年実施計画になっている。交付金配分もあるが、継続要望をあげながら事業の実施を進めて行く。

【町長】小国町人権フェスティバルにおいてパレードに代わる啓発を。【住民課長】実行委員会全体で今後検討する。

【町長】平成22年度の坂本善三美術館の決算書では、一般会計から特別会計への繰入金が全体の6割に。累計額は相当額になるが、今後の方向性を伺う。



新成人!!!

113名が新たな誓い



＝1月3日、JA阿蘇小国郷情報企画センター（渡邊雄二撮影）

祝 辞

成人おめでとうございます。新しい門出を迎えた113名みなさんに心からのエールを送ります。

新成人のみなさんも、昨年の東日本震災や原発事故という未曾有の危機を目の当たりにして、日々のくらしや将来にさまざまな思いを巡らせて来たのではないのでしょうか。

現在みなさんは、「社会に役立つ学びがしたい」とそれぞれの学校に通われている人、または既に就職をして、それぞれの職場で汗を流している人もいることと思います。みなさんが今後、それぞれのステージで活躍される事を祈念します。

新成人のみなさん。これからみなさんは立派な社会の一員です。いま、日本社会は長引く不況の下で、青年たちにとって、大

誓いの言葉を述べる瀬津田創さん
（教育委員会提供）



はばたけ!

第55回 小国町成人式



今年は、新成人113名(男性63名、女性50名)が新たな誓いを胸に、大人の仲間入りをしました。

変革しい時代ですが、激動の時代に希望ある日本を一緒につくっていくようではありませんか。

小国町議会



交通安全宣言をする杉野佳澄さん

(教育委員会提供)



お礼の言葉を述べる高野奨悟さん

(教育委員会提供)

地域づくりと情報の 収集、処理

松崎 俊一



杖立発電所を作ったり、小国銀行を発足させるなどの取り組みがあった。秋祭りのパレードも、だいこん踊りも先人達が時代の流れを汲みながらその時々を盛り上げていった。町づくりのキーポイントとして「歴史の中にヒン

図 地域づくりには行政が主導するケースと地域が主役の場合がある。戦後、ジャージー乳牛の導入は、行政主導。高度成長期からバブル崩壊まで全国で『ハコ物』、高速道路、新幹線など建設されたが、超低成長の現在、安易な『ハコ物』や公共事業に町民や国民はノーマを突きつけたことになる。現在は知恵を絞らなければならない。「時代を読む力」、「情報収集能力」が重要となる。小国の歴史を紐解くと、先人達が杉を育てたり、



トがある」と考える。また、インターネットなどによる情報の上手な収集と活用も必要と考える。

【町長】積極的に攻める行政運営を行っていきたい。職員も地域に入り込み一緒になって進めたい。職員の研修など質の向上、私自身の研さんも進めていく。

【町長】結論は大反対である。今の政府の進む方向性が、地方切り捨てに向かっているように思える。条件不利地域がもはや農業を営めなくなる事態になるのではないかと非常に心配している。

TPPへの参加反対・小国郷の 公共交通機関問題

梅本 隆志



図 現在、乗合タクシー

の試験運行をしているが利用状況はどうなっているか。また、町内を通る路線バスには、多額の補助金が支出されているがその内訳は。

【情報課長】乗合タクシーの実績は、9月から11月までの3ヶ月で、11路線で734人になっている。

平成23年度で産交バスが12系統3370万円、玖珠観光が2系統541万円、日田バスが1系統147万円、合計で15系統3396万円の補助金を支出している。



図 小国郷の公共交通機関は、今後コミュニティバス等に移行できるのか。

【町長】何年度と明言できないが、実証実験から次に展開していく必要性があると理解していただきたい。

※特別支援教育の、啓蒙活動についても質問した。

災害危険個所の崩壊対策 小規模修繕等の希望者登録制度

北里 勝義



【建設課長】急傾斜地崩壊対策事業の採択基準

【建設課長】急傾斜地崩壊対策事業の採択基準

に基づき、国庫事業及び県単独事業が実施されている。23年度は、尾園、岳の湯、下町地区の3箇所を県が実施する。また、県事業実施に向けて協力し、別の関連事業等も含めて検討したい。

【町長】採択基準に満たない箇所、要望等を把握しながら、住民のニーズにあった事業として検討していきたい。

【建設課長】急傾斜地崩壊対策事業の採択基準

【建設課長】急傾斜地崩壊対策事業の採択基準



【町長】小国町は自然が豊かで文化や歴史的に見ても大変魅力ある町だと自負している。訪れた方が自然を堪能し、気持ち癒され本来に求めて良かったと思われる町づくり観光づくりをしなければならぬ。

【町長】小国町は自然が豊かで文化や歴史的に見ても大変魅力ある町だと自負している。訪れた方が自然を堪能し、気持ち癒され本来に求めて良かったと思われる町づくり観光づくりをしなければならぬ。

観光における景観整備

北里 邦治



【情報課長】この事業は道路沿線等快適環境整備事業交付金事業で平成5年から実施している。平成16年までは事業実施の実績はあるが、その後、中断している。

【情報課長】この事業は道路沿線等快適環境整備事業交付金事業で平成5年から実施している。平成16年までは事業実施の実績はあるが、その後、中断している。



【情報課長】昨年度、日本桜の会から若い桜の木を100本いただいた。旧国鉄宮原線遊歩道に広葉樹を含め、沿線に植栽を進めているところである。管理も定期的に実施しており、必要に応じ草刈り等も行っている。

健康の町を目指して

奴留湯 哲宣



※今回以下のような
思いをもって質問しま
した。

健康診断の受診率を
向上させ健康の町づく
りを目指したい。

現在の受診率は40%
であり、毎年数パーセ
ントは向上しているが、
近隣の町村との比較で
は低い方である。国の
基準では65%を目標と
しており、近隣の町村
では目標を超えたところ
もある。小さい地域
単位での説明会や電話
及び訪問で促進したそ
うである。

小国町も小さな地域

単位や電話等で促進を
行い、受診率を向上さ
せ病気予防に力を入れ
て欲しいし、受診後も
診断結果の内容に応じ
追跡調査や健康指導を
行い健康の町を目指し
てもらいたい。

町づくり条例を見直
し、小国の資源の管理
と有効活用を促進して
欲しい。

他町村では水資源の
管理を町条例に盛り込
み、資源を守り有効活
用を考えている。小国
町も資源の有効活用を
図り、産業を促進して
活性化に繋げてもらい
たい。

少子化対策は先ず結
婚から。

年に一度婚活の業者
により、福岡などから
招待し婚活が行われて
いるが、一組も結びつ
かない現状は、やはり

遠いからではないだろ
うか。町はそれはそれ
で続けてもらい、新た
に近隣の町村(南小国・
産山・九重・玖珠)と
連合を組み婚活を真剣
に取り組んでほしい。
なぜなら、独身の長男
による高齢者介護の現
実が増えて来ているか
らだ。

【町長】小国町は人口減、
過疎化に伴い、町民所
得の低迷、国民年金生
活者の困窮がある。そ
れらは町の主産業の農
林業の衰退である。そ
の解決のためには、産
業の振興や創出が必要。
また、過去4年間、農
産物直売所も話し合っ
てきたがでぎずに終
わった。いつまでも話
し合いでは農家のため
にならない。また小国
高校・小国公立病院の
存続の問題もある。小
国公立病院は、小国公
立北里柴三郎記念病院
と名前を変えて、透析
患者のために泌尿器科

町の経済戦略

原山 光成



の設置、北里研究所や
熊本大学の知恵を借り
れば、全国から医師の
招聘が可能ではないか。
これらの事を踏まえ町
長に町おこしの考えを
伺いたい。

【町長】幅が広い質問で
ご意見の通りの部分も
ある。直売所、産業の
育成は、議会に特別委
員会も出来た事である
し、知恵も借りながら
引き続き進めていきた
い。

小国高校については、
小国高校育志会から要
望も出ている。平成24
年度予算協議のテーブ

ルにのせたい。

【町長】地熱発電につい
て長く小国町では話し合
われてきたが、ある温
泉地では、地熱発電開
始後、温泉の枯渇が週
刊誌で報じられた。地
熱とか水とか小国の資
源は小国町民のために
使うべきだ。その計画
はないか。

【町長】地元と慎重に協
議していきたい。



上水道の第二水源地確保

松本 明雄



も非常に危惧している。第二の水源地確保を検討する。

【建設課長】ケヤキ水源とその周辺の井戸水の低下については知らなかった。関係機関と調整、検討する。総合計画において平成24年度より第二の水源地の調査等の業務を実施したい。

【町有地（宅地）の売却は可能か。また、地元事業者や小国杉の使用により安価に提供できないか。

【町長】国からの指導もあり、また、活性化の糸口も見えるので有効活用していく。

【総務課長】売却可能。管財とも協議を重ねていく。

【町長】以前の一般質問で、「前向きに」、また「検討します」等、抽象的

【町長】小国地区は昭和41年より給水がはじまり、昭和57年以後、宮原以外にも給水するようになった。その影響なのか、近年、倉原、上町地区の井戸水が枯渇している。また、ケヤキ水源の水も減っている。早急に調査し、生活に一番大切な水なので、災害等の関係もあり、第二の水源地の確保を要求する。

な言葉で終わった案件については、経過を報告してほしい。

【町長】長期的なものもあるが、具体化したものについては全員協議会や勉強会の時に報告する。

応急手当講習



1月24日、心肺蘇生法、AEDの取扱い方法を北部分署の指導のもと、講習していただきました。熱心なご指導、ありがとうございました。

真剣に講習を受ける議員たち

広報特別委員会視察・研修



宮崎県高千穂・三股町議会広報委員会 1月19・20日

参加者：渡邊誠次、梅木隆志、奴留湯哲宣、児玉智博

議会広報特別委員会は、議会広報誌の資質向上のために、1月19日と20日の両日、先進地である宮崎県の高千穂町議会と三股町議会へ視察研修に行きました。特に高千穂町議会の広報誌『議会だよりたかちほ』は、平成19年と20年の全国コンクールで連続して優秀賞を受賞するほどの大変優れた取り組みが行われています。

両町議会とも、町民



高千穂での研修の様子

にわかりやすく親しまれる広報誌という共通の目標を持ちながらも、それぞれ特色のある紙面づくりに取り組まれています。

意見交換では、肖像権に対する配慮の方法などを出し合い、お互いの広報誌充実のために有意義なものとなりました。

また、その他にも議会運営のやり方などにも話が及び、議案熟読



三股議会のみなさんと

傍聴席へどうぞ

次回の定例会は3月です。

平成24年度の予算を審議します。
傍聴についてのお尋ねは、議会事務局までどうぞ。

☎ 46-2119 (直通)



高千穂と三股の議会広報誌

の機会がきちんと保障されている事など、宮崎県の町村議会の先進性に驚かされました。

編集後記

宮崎県の高千穂・三股両町議会への視察・研修では、双方とも広報誌の歴史が大変古く、長年にわたり試行錯誤が繰り返された誌面は、大変わかりやすく、小国町議会の広報にも採り入れるべきことがいくつもありました。

さらに、インターネットを利用した情報発信についても大変進んでおり、ホームページ活用の重要性についても考える機会となりました。

今回の研修で学んだことを活かし、議会の情報公開を進めることで、住民自治の推進に寄与出来るよう、委員一同、より一層努力していきます。

(児玉)

広報特別委員会

委員長 渡邊 誠次

副委員長 梅木 隆志

委員 奴留湯 哲宣

委員 児玉 智博

発行責任者

高村 祝次